

【授業改善推進プラン、3年国語】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○語彙を増やそうと調べる意欲がある。 ○主語、述語、修飾語の文章構成が定着していなく、正確に文章を理解や表現ができないことがある。 ○漢字を丁寧に書けなかったり、細かい部分を覚えていなかったりする児童がいる。 ○発想力や文章を書こうとする意欲はあるが、語彙が少ないため考えを十分に表現することができない。 ○相手の意図をつかみながら聞いたり、自分の考えを筋道を立てて表現したりすることが不十分な児童がいる。 ○ローマ字の書き方がまだ定着おらず、大文字と小文字を混同して覚えている児童がいる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○主語、述語、修飾語がどこにかかっているかをつかませる必要がある。 ○漢字がどのような構成（部首や止め、はね、はらいなど）かを確認させる必要がある。 ○語彙を増やす活動や活用する活動が必要である。 ○反復練習を行う必要がある。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○読むときや書くときに主語、述語、修飾語をおさえ、正しい文章構成を認識させる。 ○国語辞典を使って意味調べ活動を適宜行う。 ○漢字50問テストやローマ字を使った文章の見直しなど、反復練習を行う。 ○メモを取る活動やまとめる活動を行う。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○普段から国語辞典を利用して語彙を増やせるようにする。 ○主語・述語、修飾関係などの文章構成を考えさせる。

【授業改善推進プラン、3年社会】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○おおむねの児童が方位を使って資料を読み取ったり、表現したりできるようになってきた。○資料に何が書いてあるのかをあげることができる児童が多いが、特徴をつかんだり、疑問を見出したりすることまでできる子は限られている。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○特徴や疑問を見つけやすくするために、資料や資料提示の仕方を工夫する必要がある。○資料の読み方の指導を工夫する必要がある。
授業改善に向けての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○地図やグラフや表など、資料の読み取り方を視点を与えながら丁寧に行う。○事実とそこから考えられることを区別して扱う。○資料から見付けたことを比較したり、相互に関係付けたりすることを通して、社会的な事象をとらえることができるように指導する。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○地図や資料をノートに貼らせ、各自が資料について考える時間を確保する。○めあてを達成するために、必要な情報に線を引かせて考えさせる。

【授業改善推進プラン 3年算数】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に取り組む子どもが多いが、個人差がやや見られる。 ○新しい問題を考える際に、習ったことを活用したり筋道立てて考えたりする力、また、言葉・式・絵や図などを用いて解き方を表す力がやや不十分である。 ○自分の解き方をわかりやすく伝える力がやや不足している。 ○計算はおおむねできている。基本的な言葉の意味もおおよそわかっているが、個人差も見られる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導について、グループ編制の仕方等、更に改善していく必要がある。 ○文章題について、その内容を確実に理解させるよう、指導を更に工夫する必要がある。 ○困っている子どもに対しての支援の仕方について、更に研究する必要がある。 ○子どもの表現力（特に対話的な話し合い活動の素地）を高めるための具体的手だてを更に増やす必要がある。 ○振り返りを通して「何を身に付けたか」を実感できるよう指導を工夫する必要がある。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導におけるグループ編制も含め、より子どもの実態に即した授業を行う。また、単元末に課題選択別学習を取り入れ、個に合わせた授業を行う。 ○文章題について、聞いていることやわかっていることを取り出す指導を十分に行う。さらに、問題場面を図や絵、数直線などに表わし立式できるようにする。 ○問題の解き方についてモデルを示し、問題解決の仕方を学ばせる。 ○発表や発言の仕方について、モデルを示す。 ○ノートのかき方、発問や解法でよいものを取り上げ全体に示すことにより、表現力・思考力を高めさせる。 ○授業の終末に振り返りを確実にを行い、学んだことを実感させる。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○文章題指導において、「わかっていること」「聞かれていること」に線を引かせ全体で確認し、文章題の内容を確実に理解させる。また、必要に応じ数直線や線分図、絵などを利用し、文章題理解の一助とする。 ○問題を一人一人が考えた後、解決法を書いたノートを子ども同士で読み合う時間を設け、他の子どもが考えた解決法を読み取る力を伸ばす。 ○問題の解き方を発表する際、初めに子どもの解き方を黒板に記す。それを発表させる前にどのように解決したのか考える時間を設け、読み解く力を伸ばす。

【授業改善推進プラン 3年理科】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○昆虫や植物に関心が高い児童が多い。植物に関しては、栽培期間が短くなり、愛着をもって世話する児童は少なかった。 ○共通点や差異点に着目して観察することができる子と難しい児童がいる。 ○問題に対する予想を詳しく表現したり、観察や実験のまとめを自分の言葉でまとめたりできる児童が限られている。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○臨時休校期間の影響や校庭と花壇が無いことから、身近に昆虫や植物を観察し続けることが難しい。 ○科学的な思考を身に付けさせるために、比較しながら調べる活動を重視し、事象の共通点や差異点という視点から問題解決をさせていく必要がある。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教室内に生物(昆虫や植物)を置いて、一人ひとりが身近な生物や事象とかかわれるような環境を整え、自分が育てる・調べる活動を十分に行わせるようにする。(難しい場合は映像資料を活用する) ○2つのものを比較しながら調べるという活動を繰り返し、共通点や差異点についてまとめられるようにする。 ○予想や実験結果を交流する場を設ける。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実験結果を交流する場を設ける。 ○結果は表やグラフを活用し、簡潔にまとめさせる。 ○結果と考察の区別を指導する。

【授業改善推進プラン 3年音楽】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に対する意欲は高いが授業規律はあまり守れていない。 ○お互いを認め合う雰囲気があり、安心して表現活動ができている。 ○技能を生かしたり、友だちとやさしく教えあったりしながら学んでいる。 ○自分の考えや、友だちの意見を取り入れながら、主体的・協働的に学んでいる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○安心して表現できる環境を保ちながら、緊張感をもって取り組む学習についての言葉掛けや指導技術。 ○学習の技能の定着に遅れがある児童に対しての補習にかかる時間が十分ではない。 ○表現活動に一部制約があるため、学習内容に偏りがあり、様々な学習の体験が十分ではない。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○授業のながれで、切り替えポイントを教師が示し、具体的に理解しやすくする。 ○児童の実態に応じた教材解釈を行うと共に、授業内で習得できない技能は、補助プリントや休み時間を利用して補習を行う。 ○新校舎に移り、屋上などの野外を利用したり、フェイスシールドを使用したりして、飛沫防止対策を工夫し。歌唱やリコーダーなどを使用した表現活動を実施する。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の音色や音の重なりなどの聴き取ったことや、よさや面白さ、美しさなどの感じ取ったことを言語化すると際に聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを考え、リード分やポイントになる言葉を示しながらイメージを文章にする力を育てていく。

【授業改善推進プラン 3年図画工作】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○興味関心が高く、意欲的に創造活動をしている。○低学年からの積み重ねの成果がでていて、授業の忘れものも少ない。○作品の完成までにかかる時間に差がある。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○絵では自分がイメージしたものを楽しみながら、表現することができるが、組み合わせ方や色の塗り方に課題があるので指導をする。○工作では、道具の使い方、接着方法等適切にできない面の指導が必要。○安全に楽しく学習できる環境をつくる。
授業改善に向けての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○絵では配色、色塗りのトレーニング学習をする。○工作では、各道具、用具の正しい使い方を明確に指導する。○安全に学習するために、道具の出し入れ、配置、置き方、手入れ等に配慮する。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○一人一人の子どもが間違いや失敗を恐れずに、形・色大きさ、材料の感じ、表現方法など活動や感覚を通して思ったことを表現し、自信をもたせるようにする。○作品の完成後には自分の作品の紹介、友達作品について感想などを発表し合う時間を設け、自他の作品の良さや違いを認め合うなど共通理解させる。

【授業改善推進プラン 3年体育】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○全体的に体を動かすことを好み、協力して運動することはできる。その一方、自信がなく積極的に動くことができない子どももいる。 ○身体能力に差が出始めている。 ○技能面で見たものをまねする力が乏しい。 ○自分の目あてをもち、それに沿って取り組むことのできる子どもは少ない。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○個人のめあてを設定、めあてに対しての振り返りを行っていく必要がある。 ○身に付けたい力を明確にして授業に臨む必要がある。 ○技能を積み重ねていけるよう、場の工夫や日常的に取り組める学習計画の工夫が必要である。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習カードを作成し、技のポイントなど取り組むべき課題を明確にして指導する。 ○自身の能力に合った課題に取り組むことができるよう、習熟度別で場を設定したり、学年を遡って練習することができるようにしたりする等、場を工夫して指導する。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りの充実を図る。 ○絵と文から動きのポイントを理解する機会を設定する。 ○すべての子どもが目あてを明確にもち、評価することができるように、ワークシートを活用していく。 ○ペアやグループでの活動を通して、教え合いをさせる。友達の様子から学ぶことができるようにする。 ○保健の教科書を読み解く際に、内容を正しく理解できるよう指導に当たる。 ○技能ポイントなどを記した資料を子どもたちに配布し、イメージをもって運動に取り組めるようにする。 ○保健の学習で指示語が指すものに、色を塗らせる。

【授業改善推進プラン 3年総合的な学習の時間】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に対する関心は高く、意欲的に取り組む。 ○図鑑や本を活用し、楽しみながらまとめている子どもが多い。 ○適切な内容を自分で選んでまとめられる子どもは少ない。 ○調べたことから自分の考えをもち表現できる子どもは少ない。 ○課題に対し継続的に取り組むことが苦手な子どもがいる。 ○調べ学習等に意欲的に取り組むが、自分で課題を見付けることができる子どもが若干いる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に課題を発見させるための導入の工夫が不十分である。また、一人一人に明確な課題をもたせるための指導の工夫が求められる。 ○課題に適した資料を選び、そこから情報を精選する力を身に付けさせる指導の工夫が更に必要である。 ○調べたことをわかりやすくまとめる技術、まとめたことを的確に他者に伝える技術の素地を育む指導の工夫に励まなければならない。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが主体的に学ぶことができる魅力ある単元計画を設計する。 ○活動の見通しをもたせとともにゴールを意識させ、クラス全体で共有する。 ○資料の選び方やその活用の仕方及び多様な表現方法を、子どものもっている力に応じてきめ細やかに指導する。 ○思考ツールやホワイトボードなどを活用し、深く考えられるよう指導する。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の読み方についてきめ細やかな指導を行う。 ○調べてわかったことを手際よくまとめる方法について指導する。 ○文章の中からキーワードを抜き出し、その意味に当たる部分に線を引かせる。 ○わからない言葉について適宜辞書を活用させる。

【授業改善推進プラン 3年外国語活動】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○外国語活動に親しみをもち、どの活動も意欲的に取り組んでいる児童が多い。○ゲームを通してALTや友達と積極的に外国語でコミュニケーションを図ろうとする児童が多い。その一方でコミュニケーションをとることを苦手とする子もいる。○一部の児童が英語による指示を理解できていない。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○教師の英語力（正しい発音など）を高める必要がある。○児童が理解しやすい、簡単な英語での支持を出す必要がある。○英語に対する苦手意識を減らす指導の工夫が必要である。
授業改善に向けての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○ALTやデジタル教科書を活用し、正しい英語の発音に慣れ親しませる。○新しい文法や表現は、ゲームなどの活動を通して身に付けさせる。○英語で質問や説明をするときは、ジェスチャーや絵カードを活用し、ヒントを与えるようにする。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○英語表現と日本語の説明を結びつけられるようにする。○新しい語彙を確実に定着できるよう、繰り返し練習させる。

【授業改善推進プラン 3年特別の教科 道徳】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳的な価値を根拠と結びつけて書いたり思ったことを含めて結論を述べたりすることが難しく、短い単文や単語で表す児童が多い。 ○道徳的な価値を理解できても実践に結びつかない児童が居る。 ○細かい話の内容を把握できていない児童が居る。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○話の内容を素早く正確につかませるように指導の仕方を工夫する。 ○実践力を身につけさせるため、自己と向き合えるようにする。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○場面の様子や登場人物の気持ちの変化が分かるように、資料の提示や板書、発問を工夫する。 ○意見を出す際に、根拠や思ったことを含めて話し合いをさせる。 ○道徳以外の時間でも学習した道徳的価値に触れ、自己と向き合えるようにする。 ○今後、どのように自分はしていくかを道徳ノートに書かせ、実践力を身につけられるようにする。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○話の内容を素早く正確につかませるため、主人公の想いや行動を場面ごとに挿絵と一緒に整理して板書する。 ○道徳的価値を見いだした理由を含めて記述させる。